

事業報告書

令和3年度

人間を救うのは、人間だ。

日本赤十字社京都府支部

目 次

写真で見る日本赤十字社京都府支部の活動

はじめに

	ページ
1. 災害救護活動	2
2. 赤十字の各種講習	9
3. 赤十字奉仕団	11
4. 青少年赤十字（JRC）	14
5. 医療事業	19
6. 健康相談など医療社会事業	23
7. 看護師の養成	23
8. 血液事業	24
9. 国際活動	25
10. 会員（支援者）増強と社資募集	27
11. 赤十字思想の普及・広報活動	29
(資料) 令和3年度の主な行事	31
表彰	32
役職員名簿	33
評議員名簿	34
日本赤十字社京都府支部 地区・分区組織図	35
施設一覧	36

有功会事業



有功会会員から小児病棟入院児童に
クリスマスプレゼントを配付

青少年赤十字（JRC）の育成



NHK海外たすけあい
街頭啓発キャンペーン

赤十字ユースボランティアの活動



国際赤十字・赤新月社連盟による
「Limitless」動画に参加

奉仕団の活動



赤十字奉仕団による
アクリルたわし等の寄贈

医療事業の推進



コロナウイルス感染症患者さんの治療にかかる訓練を行う職員

血液事業の推進



献血イベントの様子

はじめに

日頃から京都府民の皆様や関係各位の方々には、赤十字事業推進に格別のご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

令和3年度は、昨年引き続き新型コロナウイルス感染症の影響により、京都府支部並びに府内の赤十字施設では事業の中止や縮小等を余儀なくされ、依然厳しい状況にありました。

こうした中、京都第一赤十字病院、京都第二赤十字病院、舞鶴赤十字病院の各病院においては新型コロナウイルス感染症への対応に尽力するとともに、医療の最前線において職員一人ひとりが「救いを託されている」ことを意識し、業務に当たってまいりました。京都府赤十字血液センターにおいても、献血者の確保が大変困難な状況になる中、献血の予約の推進やSNSでの発信等に努め、多くの皆様にご協力いただき医療機関に必要な輸血用血液製剤の供給を確保することができました。

また、世界に目を向けると、自然災害、紛争、テロや感染症等により、人間のいのちと健康、尊厳が脅かされる危機的な状況が発生しており、赤十字の人道支援の役割はますます大きくなる中、京都府支部では、人間のいのちと健康、尊厳を守るという日本赤十字社の使命の下、大規模災害の発生に備え、迅速かつ機動的な救護活動を展開するための資機材の整備や訓練の実施による災害対応力の強化、防災教育事業や救急法等の各種講習の実施、青少年赤十字の育成等に当たっては、万全の感染症対策を取りながら、赤十字ボランティアの皆様と共に積極的な活動を行っております。

このように、地域の中核医療機関として質の高い医療の提供や災害時の救護活動など日本赤十字社がこれらの活動に取り組むことができるのは、ひとえに皆様の温かいご支援の賜物であり、改めて深く感謝申し上げます。

時代が変遷しても「人道の実現」という日本赤十字社の使命が変わることはありません。支部、各病院、血液センターが一丸となって、皆様の信頼に報いることができるよう、赤十字事業の推進に全力で取り組んでまいります。

皆様のなお一層の温かいご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和4年6月

日本赤十字社京都府支部

1. 災害救護活動

(1) 救護員の体制

災害時、初動期から中長期におよぶ医療救護活動ができるよう、京都第一・京都第二・舞鶴の各赤十字病院の医師・看護師等からなる常備救護班を15班編成するとともに、血液センターにおいては血液供給班を編成するなど、有事に備える体制を構築しています。

災害等緊急派遣に対応する救護班要員の任命状況については次の通りです。

施設名	医師	看護師	一般職員	その他	合計人数	登録区分
京都府支部	0	2	10	0	12	災害対策本部要員
京都第一日赤	18	28	12	15	73	常備救護班要員
京都第二日赤	6	23	11	8	48	〃
舞鶴日赤	3	9	5	1	18	〃
血液センター	0	0	4	0	4	血液供給要員
〃（福知山）	0	0	2	0	2	〃
合計	27	62	44	24	157	

※京都第一日赤及び京都第二日赤の常備救護班要員には、日本DMATと京都DMATの登録者を含んでいます。



救護班要員の訓練の様子

(2) 防災ボランティア団体等の状況

京都府支部における防災ボランティア団体としては、阪神・淡路大震災の教訓を踏まえ、医療救護支援活動から物資搬送・炊き出しまでの総合的な救援活動を迅速に行う災害ボランティアを目指して平成8年1月に発足した、「赤十字レスキューチェーン京都」があり、有事の際に実働し得る団員を確保するためメンバーの増員を図るとともに、特殊技術を有する個人を防災ボランティアとして登録するなど、支部における防災ボランティアの活動基盤の構築と発展に努めています。

○赤十字レスキューチェーン京都 支会別会員数（令和4年3月31日現在）

支会名称	団員数（人）
舞鶴支会	4
福知山支会	10
亀岡支会	14
京都支会	16
長岡京支会	9
宇治支会	12
合計	65

また、災害初動期の医療救護活動の支援体制をより強固にするため、団員のうち所定の基準を満たす者を本社規程に基づく特殊救護要員に登録し有事に備えています。

令和3年度特殊救護要員登録者数（人）	24
--------------------	----



日赤職員と共に訓練を行う
レスキューチェーン京都の団員

（3）救護員等の訓練、研修

京都府支部では、救護体制及び技術の向上に努めるため、京都府や京都市など行政機関が実施する総合防災訓練等への参加や、赤十字独自の救護訓練を実施するなど、実践的な訓練や研修に積極的に取り組んでいます。

①各種防災救護訓練の参加実績（ボランティア派遣人員を含む）

訓練名称	実施日	会場	参加者数（人）
第4ブロック合同災害救護訓練（中止）	6/19	日赤兵庫県支部 災害救護支援センター 他	—
京都府総合防災訓練（中止）	8/29	京丹後市	—

福知山市地域防災訓練 (医療救護訓練中止)	8/29	福知山市	—
京都市総合防災訓練 (中止)	9/2	京都市	—
宇治市総合防災訓練 (中止)	9/19	宇治市	—
長岡京市防災訓練 (中止)	10/31	長岡京市	—
京都刑務所総合防災訓練 (中止)		山科区 (京都刑務所)	—
京都府原子力総合防災訓練 (医療救護訓練中止)	11/28	京丹波町	—
支部管内合同災害救護訓練 (中止)	1/23	伏見区 (京都府赤十字血液センター)	—
第八管区海上保安本部訓練見学 (中止)	2/9	舞鶴市 (第3埠頭)	—



京都府原子力総合防災訓練
アドバイザー (福知山市三段池)

②職員等救護員を対象とした教育研修実績

研修会の名称	実施日	会場	参加者数 (人)
救護班要員基礎研修	4/1~3/31	WEB (オンデマンド) 形式	9
こころのケア研修会	10/20	舞鶴赤十字病院	6
救護員としての赤十字看護師研修 (救急法)	11/17~19	舞鶴赤十字病院	8
災害看護論演習 (トリアージ)	1/11	京都第一赤十字病院	4 4
こころのケア指導者養成研修会	2/11~13	本社WEB (オンライン) 形式	1
全国赤十字救護班研修 (中止)		本社	—
こころのケア研修会	1/6~2/4 2/5	京都第二赤十字病院 (オンデマンド+対面)	2 6
災害看護論演習 (基礎行動)	2/28	京都第一赤十字病院	3 8

こころのケア研修会	3/1～3/11 3/11	京都第一赤十字病院 (e-learning+対面)	15
日赤災害医療コーディネート フォローアップ研修会	3/13	本社WEB（オンライン）形式	15
合計			162

③救護体制の検討等に関する会議

会議の名称	実施日	会場	参加者数（人）
第4ブロック救護員指導者協議会	4/20	兵庫県支部 災害救護支援センター	5
支部救護員指導者協議会（第1回）	7/9	京都府支部	18
支部救護員指導者協議会（第2回）	10/19	京都府支部	17
第4ブロック救護員指導者協議会	12/16	奈良県支部	15
第4ブロック救護員指導者協議会	2/24	WEB（オンライン）形式	12
支部救護員指導者協議会（第3回）	3/1	京都府支部	15
合計			82

（4）日本赤十字社防災教育事業（赤十字防災セミナー）

京都府支部では、受講者に対して災害への備えや非常時の心構え等を紹介するとともに、災害時における赤十字の活動について知ってもらうため、「赤十字防災セミナー」を開催しています。本セミナーは、地域における啓発活動の一つとして位置付けられており、地区・分区や社会福祉協議会、自治会等において積極的に展開しています。

① 赤十字防災セミナー

内容	実施日	場所	参加者（人）
災害への備え	7/7	京田辺市立北部住民センター	12
	12/4	京都府立洛南寮	21
	1/27	京都市立神川中学校	1,073
	3/3	宇治市立南宇治中学校	69
	3/6	宇治市東宇治地域福祉センター	25
	3/11	京都市健康増進センターヘルスピア21	29
合計			1,229

② 日本赤十字社防災教育事業における支部指導者数

日本赤十字社防災教育事業における指導者数	職員（人）	ボランティア（人）
	8	3



赤十字防災セミナーの様子

（５）救護、救援活動派遣実績

災害発生時の物資搬送や地域のイベントなどでの事故の発生に対応するため、医師、看護師等を派遣しています。

①災害救護、救援活動の派遣実績

内容	実施日	場所	派遣人員 (人)
集合住宅の火災に伴う救援物資搬送	3/17	木津川市	5

②イベント等への救護員の派遣実績（ボランティア派遣人員を含む）

内容	実施日	場所	派遣人員 (人)
亀岡平和祭花火大会（中止）	8/11	亀岡市（保津川河川敷）	—
宇治川マラソン大会（中止）	2/27	宇治市（太陽ヶ丘一帯）	—



集合住宅の火災に伴う救援物資搬送出動の様子

(6) 救護資機材の整備

災害救護で必要な救護関係資機材は、移動手段として最も重要な車両整備をはじめ、最新の通信系機器やその他資機材の整備に努めました。

今後も、災害救護活動が迅速かつ円滑に展開できるよう、より一層、資機材の充実を図ることとしています。

資機材品目		保有数量	備考
救護車両	大型救急車	1	特殊救急車
	救急車	5	支部、第一、第二（2台）、舞鶴の各病院に常置
	装備車（トラック）	2	
	その他の救援車両	4	
除染	除染設備（テント）	2	除染設備一式、特殊防護服4着は舞鶴に常置※
	特殊防護服（レベルC）	18	
テント	エアー	3	
	パラソル	39	27張は地区・分区に配備
	ドラッシュテント	3	
医療セット		3	第一、第二、舞鶴の各病院に常置
除細動器（AED 8台を含む）		13	3台のAEDは救急車搭載用
発動発電機		17	3台はドラッシュテント用
担架（特殊を含む）		28	
衛星通信機器（車載用2台を含む）		11	
無線機	150MHz	32	
	410MHz	26	
	簡易業務無線	7	京都DMATとの通信用

※この他に、除染設備（テント）一式及び特殊防護服（レベルC）4着が京都第一、京都第二赤十病院のそれぞれに京都府から貸与されています。

(7) 災害救護用備蓄倉庫

地域	設置場所	形状
京都市	日本赤十字社京都府支部内	敷地内倉庫等
	日赤京都救護活動センター（京都府赤十字血液センター内）	建物内
府北部	舞鶴赤十字病院敷地内	2階建独立建物
	京都府赤十字血液センター福知山出張所内	コンテナ倉庫
	綾部市消防本部敷地内	コンテナ倉庫
	亀岡市役所地下2階	庁舎内倉庫

府南部	宇治市職員会館敷地内	コンテナ倉庫
	長岡京市スポーツセンター敷地内	コンテナ倉庫
	精華町地域福祉センターかしのき苑敷地内	コンテナ倉庫

(8) 救援物資の配布と備蓄

南北に長い京都府の地理的条件から、災害時に即応するため、救援物資である毛布・緊急セットを府内全市町村の地区・分区に備蓄しているほか、災害救護用分置倉庫に救護資材及び救援物資を備蓄しています。

①救援物資の配分状況 (京都府内分)

被害区分	被災世帯及び人員		毛布 配分数(枚)	緊急セット 配分数(個)	安眠セット 配分数(個)	タオルケット 配分数(枚)
	世帯数 (世帯)	人員 (人)				
住家全焼	21	52	53	24	14	8
住家全壊	2	8	2	1	0	0
住家流出	0	0	0	0	0	0
住家半焼	6	9	10	4	3	7
住家半壊	0	0	0	0	0	0
住家床上浸水	0	0	0	0	0	0
避難所	0	0	0	0	0	0
その他	4	8	2	1	3	2
合計	33	77	67	30	20	17

②救援物資の備蓄状況

場所	毛布(枚)	緊急セット(個)	安眠セット(個)	タオルケット(枚)
支部等の倉庫	5,350	2,556	1,006	2,809
地区・分区	1,858	865	811	969
合計	7,208	3,421	1,817	3,778

(9) 災害死亡見舞金の贈呈

令和3年度は、火災などの災害により死亡された10名の方の遺族に、地区・分区を通じて見舞金を贈りました。

(令和4年3月31日現在、京都府支部に申請のあった分)

11件 14名 280,000円 (1名あたり 20,000円)

(10) 国内災害義援金

(令和4年3月末現在)

区 分	京都府支部		
	令和3年度受付分	受付開始からの累計額	
平成30年7月豪雨災害	0件	0円	57,672,703円
令和2年7月豪雨災害	4件	202,397円	2,570,892円
令和3年2月福島県沖地震災害	4件	36,737円	65,429円
令和3年7月大雨災害	13件	313,662円	
令和3年台風第9号等大雨災害	7件	132,273円	
令和3年島根県松江市大規模火災	4件	11,673円	
令和3年8月大雨災害	7件	32,779円	
令和3年長野県茅野市土石流災害	6件	29,168円	
令和4年3月福島県沖地震災害	4件	40,537円	
合計	49件	799,226円	

2. 赤十字の各種講習

不慮の事故や急病に対する応急手当の方法や、家庭内での病気の予防や看護の方法などの知識と技術を身につけ、一人でも多くの方々に健康で幸せな生活を送っていただくために、救急法・水上安全法・健康生活支援講習・幼児安全法の講習を府内各地で実施したほか、講習の指導にあたる指導員の養成にも努めました。その実施状況は次のとおりです。

講習区分	資格講習				短期講習		合計	
	基礎講習		救急員等養成講習		回数	人数	回数	人数
	回数	人数	回数	人数				
救急法	28	563	8	200	39	1,249	75	2,012
水上安全法			0	0	4	79	4	79
健康生活支援講習			0	0	16	287(118)	16	287

幼児安全法			0	0	45	726	45	726
合計	28	563	8	200	104	2,341	140	3,104

※この他に、雪上安全法の講習もありますが、京都府支部では実施していません。

※（ ）内は、災害時高齢者生活支援講習の受講者数

(1) 指導体制

講習名	支部職員	施設職員	ボランティア	合計人数
救急法	6	45	84	135
水上安全法	0	0	19	19
健康生活支援講習	1	20	5	26
幼児安全法	3	23	7	33

(2) 講習指導員関係講習会・研修会

講習会・研修会の名称	実施日	会場	参加者数
赤十字幼児安全法講習講師研究会	5/27～28	WEB（オンライン）形式	1
赤十字幼児安全法指導員養成講習	8/1（事前研修） 9/11～12・18～20 （本講習） 10/9～10（事後研修）	日本赤十字社京都府支部	8
赤十字水上安全法講師養成講習会	10/4～6	さいたま市沼影公園プール	1
赤十字救急法指導員養成講習会	10/30（事前研修） 11/15～19（本講習） 12/14～15（事後研修）	日本赤十字社京都府支部	6
赤十字救急法講師養成講習会	12/1～3	日本赤十字社神奈川県支部	1
赤十字水上安全法講師研修会	12/16	日本赤十字社本社	1
赤十字救急法講師研修会	1/18	WEB（オンライン）	2
赤十字幼児安全法講習講師研究会	2/3～4	WEB（オンライン）形式	1
赤十字幼児安全法講師研修会	2/8～9	WEB（オンライン）形式	2
赤十字健康生活支援講習講師研修会	2/9～10	WEB（オンライン）形式	2

赤十字健康生活支援講習指導員研修会	3/8	舞鶴赤十字病院	5
赤十字幼児安全法講習指導員研修会	3/8	舞鶴赤十字病院	4
赤十字健康生活支援講習指導員研修会	3/9	京都第二赤十字病院	7
赤十字幼児安全法講習指導員研修会	3/9	京都第二赤十字病院	6
赤十字健康生活支援講習指導員研修会	3/11	京都第一赤十字病院	7
赤十字幼児安全法指導員合同研修会	3/11	京都第一赤十字病院	9
赤十字健康生活支援講習指導員研修会（ボランティア指導員）	3/15	京都府支部・WEB（オンライン）形式	3
赤十字幼児安全法指導員研修会（ボランティア指導員）	3/16	京都府支部・WEB（オンライン）形式	7
赤十字健康生活支援講習指導員研修会	3/18	京都第二赤十字看護専門学校	3
赤十字幼児安全法講習指導員研修会	3/18	京都第二赤十字看護専門学校	5
赤十字救急法指導員研修会	3/19～31	WEB（オンデマンド）形式及び京都府支部※	8 7
赤十字水上安全法指導員研修会	3/27	京都踏水会水泳学園	1 3

※WEB（オンデマンド）形式での受講が難しい指導員向けに京都府支部で実施（3/24・27・28）

3. 赤十字奉仕団

赤十字奉仕団は、赤十字の基盤となるべき重要な奉仕者の組織として、赤十字事業の推進を図るうえで欠くことのできない存在です。奉仕団の活動は、それぞれの地域に即した奉仕活動を行うために組織されたもので、日本赤十字社の地区・分区を中心として、一定の地域を単位として結成されています。

各奉仕団は、それぞれの特性を生かし、赤十字思想の普及・活動資金の募集・献血の推進・災害時に備えた救援活動や各種奉仕活動を行っています。

（1）奉仕団登録状況

区分	団数（団）	分団数（団）	人数（人）	備考
地域奉仕団	1 4	2 1 9	2, 4 4 4	京都市 1 1 団、綾部市 1 団、舞鶴市 1 団、城陽市 1 団
青年奉仕団	3	—	2 6 0	赤十字京都ユース 20 名 京一・京二看護学生奉仕団 240 名
特殊奉仕団	2	—	8 7	赤十字レスキューチェーン京都 65 名 青少年赤十字賛助奉仕団 23 名

(2) 奉仕団活動状況

①赤十字レスキューチェーン京都

行事名	実施日	会場	参加者数 (人)
赤十字無線救護奉仕団 第4ブロック連絡協議会役員会	4/10	大阪府支部	1
第4ブロック合同災害救護訓練(中止)	6/19	日赤兵庫県支部 災害救護支援センター 他	—
亀岡平和祭花火大会(中止)	8/11	亀岡市	—
京都府総合防災訓練(中止)	8/29	京丹後市	—
宇治市総合防災訓練(中止)	9/19	宇治市	—
長岡京市防災訓練(中止)	10/31	長岡京市	—
宇治福祉まつり(中止)	11月	宇治市	—
宇治川マラソン大会(中止)	2/27	宇治市	—
第33回全国車いす駅伝競走大会(中止)	3/12~13	国立京都国際会館他	—
合計			1

②赤十字京都ユース(RCY)

行 事 名	実 施 日	会 場	参加者数 (人)
第4ブロック青年赤十字奉仕団協議会代表者 会議	5/16	WEB(オンライン)形式開催	3
LIMITLESS PHASE 1 動画撮影	7/16	京都府支部	—
HIV/AIDSピアエデュケーション オンラインセミナー	8/15・28	WEB(オンライン)形式開催	10
京都府青年赤十字奉仕団基礎研修会	10/3	WEB(オンライン)形式開催	13
青年赤十字奉仕団第4ブロックリーダー養成研 修会	11/27	WEB(オンライン)形式開催	3
青年赤十字奉仕団第4ブロック合同防災学習	12/4	WEB(オンライン)形式開催	6
京都市はたちを祝う記念式典の ボランティア活動	1/10	京都市勧業館 みやこめっせ	3
赤十字7原則に関するセミナー(YABC) フォローアップ研修	3/5~6	WEB(オンライン)形式開催	1
LIMITLESS PHASE 2 動画撮影	3/2	京都府支部	3
第33回全国車いす駅伝競走大会(中止)	3/12~13	国立京都国際会館他	—
合 計			39

③青少年赤十字賛助奉仕団

行 事 名	実施日	会 場	参加者数 (人)
京都府青少年赤十字賛助奉仕団総会	7/13	京都府支部	5
全国青少年赤十字賛助奉仕団協議会総会	7/17	WEB形式で開催	1
第4ブロック支部 青少年赤十字賛助奉仕団交流研修会 (中止)	10/20~21	京都	—
京都府青少年赤十字賛助奉仕団研修会	11/20	京都府支部	10

(3) 施設奉仕活動状況

奉仕団名	活動場所 (活動内容)	活動延日数	活動延人数 (人)
南区奉仕団婦人部	京都第一赤十字病院及び看護専門学校	中止	—

※新型コロナウイルス感染症の影響により4月以降の取組中止

(4) 赤十字奉仕団支部指導講師の活動状況

①支部指導講師 3名

②活動状況

活動内容	実施日	会 場	参加者数 (人)
講演「感染症流行時においても全ての人々に人間の尊厳を～Dignity for all～」	6/3	京都府立東稜高等学校	36
講演「感染症流行時においても全ての人々に人間の尊厳を～Dignity for all～」	6/14	京都市立西京高等学校	80
講演「恐れるべきは人ではなくウイルス～心の感染は止められる～」	7/6	ガレリアかめおか	85
京都府青少年赤十字指導者研修会	7/27	WEB研修	23
講演動画提供「感染症流行時においても全ての人々に人間の尊厳を～Dignity for all～」	※1 9/13~30	佛教大学 公式YouTubeチャンネル	5,922
全国青少年赤十字研究会 (支部研修)	9/30	WEB研修	6
赤十字ボランティア・リーダー研修会	10/28~31	WEB (オンライン) 形式開催	※2 51
講演「感染症に対するレジリエンスの強化」	12/3	ANAクラウンプラザ ホテル京都	19

※1 画視聴可能期間

※2 全国からの参加者数

4. 青少年赤十字（JRC）

将来の赤十字の担い手を育成する青少年赤十字活動を展開し、その強化を図るため、京都府・京都市並びに各市町村の教育委員会、青少年赤十字指導者協議会、青少年赤十字賛助奉仕団等の協力を得て、子どもたちが赤十字の精神を理解し、日常生活の中で望ましい人格を作り上げることができるよう、学校教育の中で取り組まれています。

（1）加盟校とメンバー数

区分	幼稚園・保育園	小学校	中学校	高校	合計
加盟校数（校）	17	186	6	6	215
メンバー数（人）	1,270	64,637	2,881	85	68,873

（2）リーダーシップ・トレーニング・センターの中止

小学生の部を令和3年7月31日（土）、高校生の部を令和3年8月3日（火）に開催予定として準備を進めましたが、新型コロナウイルスの感染症に係る緊急事態宣言期間が延長されたことを踏まえ、中止しました。

（3）国際交流事業の実施

京阪神支部合同青少年赤十字国際交流事業

令和2年度から大阪府、京都府及び兵庫県の3支部合同によるマレーシア赤新月社ジョホールバル支部との国際交流事業を予定していましたが、新型コロナウイルス感染拡大により中止しました。

（4）研修会の実施

行事名	実施日	開催形態等	参加者数（人）
京都府青少年赤十字指導者研修会	7/27	Web研修	23
京都府青少年赤十字高校生オンライン研修会	11/3	Web研修	33

(4) 青少年赤十字モデル事業

テーマ・内容	学校
<p>「健康・安全」</p> <p>「自ら心と体を動かして遊ぶことを楽しむ姿を目指して」 ～子どもの“ねがい”を実現する園環境の創造から～</p> <p>都市部に位置する環境やコロナ禍でステイホーム傾向がある中、本来、子どもたちがもつ「体を思い切り動かして遊びたい」という”ねがい”を実現し、健やかな成長を促すため、園庭や園舎の環境の現状把握と課題を調査して再整備をした。 園庭の環境をマップにしてその変遷を記録、振り返り、工夫を重ねた。 近隣環境を調査し、保育への活用を検討した。</p>	<p>京都市立 中京もえぎ 幼稚園</p>
<p>「奉仕」</p> <p>「コロナ時代における清掃活動」 ～清掃活動を通して、地域に貢献する子の育成をめざして～</p> <p>コロナ時代となり、子どもたちと地域のつながりが減ってしまっている。学校を通じて、つながりを体験させるため、クリーンキャンペーン・養正クリーン作戦を取り組み、子どもたち・PTA・地域と一緒に活動した。</p> <p>① 共有する物を使用するときは、手洗い・消毒をすることを知る。 ② 学校は、みんなで使う場所であることから、常に清潔にしておくことが大切であることを知る。 ③ 学校の目の前にある公園も、みんなで使う場所だから学校と同じであることを知る。 ④ 通常のコリノ活動に加え、週1回のクリーンキャンペーンで公園・学校の清掃を行う。 ⑤ 養正クリーン作戦として、児童・教職員・保護者・地域が集まり、雑草抜きを行う。</p>	<p>京都市立 養正小学校</p>
<p>「健康・安全」</p> <p>「ジャンプアッププロジェクト」～児童の体力向上～ 児童の体力・運動能力の向上には、様々な運動遊びを知り、休み時間や体育科の授業での体を動かす機会を保障するとともに、自分の健康について考え、積極的に体力の向上を目指す児童を育てるため事業を計画し、実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・休み時間に業務体育「パワーアップタイム」を年間3回設定 1回の期間は2週間程度とし、短縄、大縄、ドッジボール、5分間走など、様々な種目を 学年ごとに運動場や講堂など場所や種目を分けて取り組んだ。 ・運動委員会主催の「ドッジボール大会」や「大縄大会」を実施 ・体育科の学習の充実などによる「ジャンプアッププロジェクト」の取組を実施 	<p>京都市立 金閣小学校</p>

テーマ・内容	学校
<p>「健康・安全」</p> <p>総合的な学習の時間「考える防災教室」～自宅で避難生活～</p> <p>ライフラインのない暮らしを想定し、自宅で避難生活を送る際の工夫について学習することによって、主体的に防災に取り組む姿勢を培うとともに、中学生である自分に何ができるか具体的なアクションを考えた。</p> <p>レクチャー：日本で起こる自然災害、災害後の暮らしの変化 ワーク：ライフラインのない暮らしを予想、自宅で避難生活を考える。 実習：紙スリッパ、紙食器、防寒着作り</p>	宇治市立 南宇治中学校

(5) 防災教育プログラム

防災学習の取組（京都府支部確認分）

実施校	実施日	内容
京都府立嵯峨野高等学校 JRC部	7/15	「非常食」を試食体験
京都市立神川中学校	1/27	赤十字地域防災セミナー「災害の備え」
宇治市立南宇治中学校	1/28	1年生対象の防災学習

(6) 高校生の献血セミナー

学校名	実施日	会場	参加者数（人）
華頂女子高等学校 JRCメンバー	10/18	献血ルーム四条	11

(7) 高校生による募金活動（京都府支部確認分）

学校名	活動内容	実施時期
華頂女子高等学校	赤十字活動資金募集	11月
	NHK海外たすけあい募金	11月
高校生メンバー協議会	NHK海外たすけあい募金	12/11



「非常食」の試食体験（嵯峨野高等学校）



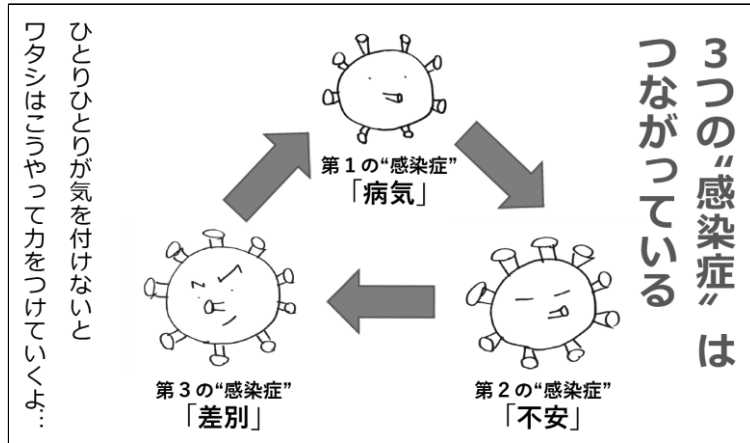
活動資金への協力（華頂女子高等学校）

(8) 活動状況

行事名	実施日	開催形態等	参加者数 (人)
京都府青少年赤十字指導者協議会役員会	4/19	Web会議	18
京都府青少年赤十字指導者協議会総会	5/14	Web会議	24
京都府立北嵯峨高等学校 J R C 部勉強会	6/3	Web会議	5
本社主催リーダーシップ・トレーニング・センター指導者養成講習会	6/5	Web会議	1
第1回京都府青少年赤十字高校生メンバー協議会	6/19	Web会議	46
青少年赤十字第4（近畿）ブロック支部指導者研修会	中止		—
全国青少年赤十字指導者協議会役員会・総会	6/29	Web会議	1
京都府青少年赤十字指導者研修会	7/27	Web研修	17
京都府青少年赤十字指導者協議会会長・副会長会議	7/27	京都府支部・ Web会議	7
京都府立北嵯峨高等学校 J R C 部救急法講習会 （基礎講習）	8/5	京都府支部	10
京都府青少年赤十字高校顧問会議	8/6	Web会議	7
	9/22		7
全国青少年赤十字研究会（支部研修）	9/30	Web研修	6
全国青少年赤十字研究会	9/30	Web研修	2
第2回京都府青少年赤十字指導者協議会役員会	10/6	Web会議	19
京都府立鳥羽高等学校 J R C 部勉強会	10/29	鳥羽高校	6
子ども体験教室（ふれあいバスケット）	中止		—
全国 J R C スタディー・プログラム	12/25, 26	華頂女子高校 Web研修	5
京都市青少年赤十字研究会による防災授業	中止		—
第2回京都府青少年赤十字高校生メンバー協議会	2/19	Web会議	31
第3回京都府青少年赤十字指導者協議会役員会	2/21	Web会議	17
京都府立嵯峨野高等学校 J R C 部「認知症サポーター 養成講座」の受講	3/25	京都府支部	14

(9) 日本赤十字社が提供するコロナ関連教育教材について

日本赤十字社が作成したガイドブック『新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう！～負のスパイラルを断ち切るために～』やアニメーション『ウイルスの次にやってくるもの』を授業等で活用したり、ホームページ等に掲載していただきました。



新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう！
～負のスパイラルを断ち切るために～



ウイルスの次にやってくるもの

5. 医療事業

京都第一、京都第二及び舞鶴赤十字病院は地域における中核医療機関として地域医療に積極的に貢献しており、昨今の医療情勢は厳しい状況にありますが、医療の質の向上並びに医療設備の充実強化を図り、経営の安定と機能の充実に努めております。

更に、赤十字病院の使命に鑑み、日頃から医師や看護師等を救護班要員として登録し、災害発生時には、救護班要員を被災地に緊急派遣するなど、迅速な医療救護活動が展開できる体制を取っています。

① 京都第一赤十字病院

当院のビジョンは、「地域に信頼される最高の基幹病院を目指す」であり、サブビジョンは「臨床・学術・教育および地域連携の四方よし」、「愛と誠と夢のある病院づくり」であります。令和3年度より新たに「WITHコロナ・AFTERコロナへの対応」「働き方改革への取り組み」を追加しました。具体的な令和3年度の患者数・診療単価目標について、コロナ患者の受入体制を維持しつつ、当初予算で見込んだ令和元年度実績数値を目標としました。



京都第一赤十字病院

また、AFTERコロナへ向けて、緩和ケア病棟の開設、周産期母子医療センターの整備計画、ICT化・デジタル化への対応、働き方改革の推進などの取り組みを行う方針としましたが、実際には、やはりコロナ対応に振り回された1年となりました。

結果的にコロナ診療については、重症患者を中心として府内でトップクラスの診療実績を上げ責務を果たすことができました。地域の基幹病院として出来る範囲でその使命を果たすことができたことは、各フェーズにおいて柔軟な組織運用、現場で奮闘してくれたスタッフ、および、皆さまの支援の賜物であり、深く感謝申し上げます。

収支的には、医業収支は多額な退職給付引当金の還付（6.8億円）で、2.4億円の黒字となりましたが、実質的には4.2億円の赤字と認識しております。令和4年度は、医業収支の黒字化が大きな課題ですが、4月の診療報酬改定によると当院は増収が予想され、達成可能な目標と考えております。なお、総収支は、コロナ関連の補助金17.7億円により、22億円の黒字となりました。

医業収益について令和2年度と比較して特徴的なことは、入院診療単価の上昇（3,511円増で95,729円）、新入院患者数の増加（413人増で14,447人）、入院収益がアップ（7%増）したことです。コロナ禍においても、入院による高度急性期医療が当院の方向性であることを示しています。

令和4年度の課題・取り組みとしては、働き方改革、周産期事業の整備、コロナに対応できる

地域ぐるみの感染管理、適正な病床数への再編成、がん化学療法室の充実（移転）などが挙げられますが、更には、第二日赤・府立医大との連携にも取り組んでいきたいと思っております。

② 京都第二赤十字病院

令和3年度においては、医業収益210億48百万円、医業費用208億94百万円で、本業の医業収支は1億54百万円の黒字となり、病院総収支では、29億73百万円の黒字を実現し、建設資金を増加させることができました。

この期間、コロナ禍の影響等により入院患者数は前年度より減少しましたが、日本赤十字社京都府支部の移転に伴う管理換による支部繰入金及び補助金収入により、病院総収支は、過去



京都第二赤十字病院

最高額となりました。しかし、当院は、施設設備の老朽・狭隘化が喫緊の課題であり、新棟建設の実現に向け、国際情勢の不安定の影響等により建設資金の高騰が予測されることから、更なる建設資金の積み増しが必要な状態です。

今年度も、新型コロナウイルス感染症における対応に引き続き万全を期しながら“赤十字ならではの”の使命と、高度急性期・地域医療支援病院の役割を果たすため、医療資源を効果的に活用し、安全で質の高い医療を継続して提供するとともに、更なる経営改善を目指してまいります。

また、ウイズコロナ、ポストコロナの激変する社会環境に合わせた当院のあり方、将来像を再検証し、患者さんや地域医療機関のみならず働く職員からも選ばれ続ける病院になるためには、何をすべきかを常に念頭に置き、課題解決に取り組んでまいります。

③ 舞鶴赤十字病院

当院では慢性的な医師不足が続いており、令和3年度も常勤医16名（うち、非正規3名）と引き続き厳しい状況が続きました。

また、新型コロナウイルス感染拡大が続いておりますが、当院も協力医療機関＋疑似症対応医療機関として5階病棟にゾーニングエリアを設置、受入病床を4床準備し新年度を迎えました。

8月20日からは、重点医療機関の指定を受け、5階病棟をコロナ専用病棟とし体制の強化を実施いたしました。



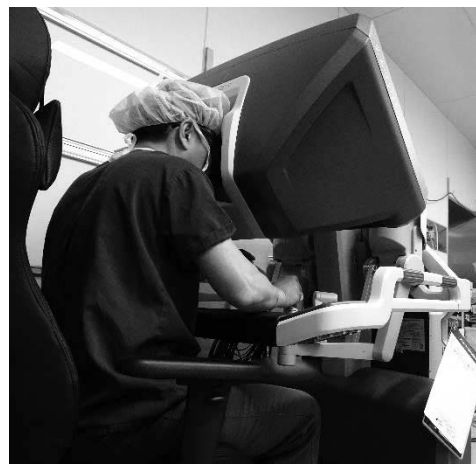
舞鶴赤十字病院

第6波対応では、隣接する舞鶴市民病院でのクラスター患者を速やかに受入、現在は、陽性5床＋疑似症2床の体制としております。

一方、全体の入院患者延数は46,728人（前年度比▲6,119人）、病床稼働率は65.3%（前年度比▲15%）と大幅に減少し医業収益は1.2億円の赤字となりました。

しかしながら、病床確保補助金等の影響もあり、総収支は6.2億円の黒字を計上しております。舞鶴市は高齢化率が31.8%と全国平均よりも高い地域であり、人口減少も著しく、2040年には現在の8割程度に医療ニーズが落ち込む予測が出ております。

医師数の大幅な増加は見込めない中で、病床再編も視野に入れつつ地域に根差した医療提供体制を構築してまいります。



手術支援ロボット「ダビンチ」運用開始（京都第二赤十字病院）

医療施設の概要

	病床数		診療科目	職員数 (人)				入院患者数 (人)		外来患者数 (人)	
	許可	稼働		医師	看護師	他	計	延数	一日平均	延数	一日平均
京都第一赤十字病院	616	612	リウマチ内科、内科、糖尿病・内分泌内科、血液内科、消化器内科、循環器内科、脳神経内科、呼吸器内科、腎臓内科、泌尿器科、外科、乳腺外科、小児外科、呼吸器外科、形成外科、心臓血管外科、整形外科、脳神経外科、小児科、新生児内科、産婦人科、耳鼻咽喉科、眼科、皮膚科、精神科、放射線診断科、放射線治療科、歯科口腔外科、麻酔科、緩和ケア内科、救急科、病理診断科、リハビリテーション科	247	703	377	1,327	168,527	462	288,921	1,194
京都第二赤十字病院	667	546	総合内科（内科）、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、血液内科、糖尿病内分泌・腎臓・膠原病内科、脳神経内科（神経内科）、外科、呼吸器外科、心臓血管外科、気管食道外科、整形外科、脳神経外科、形成外科、こころの医療科（精神科）、小児科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線診断科、放射線治療科、病理診断科、歯科口腔外科、麻酔科、救急科	316	702	454	1472	159,612	437.3	299.822	1,238.9
舞鶴赤十字病院	198	198	内科・消化器内科・神経内科・小児科・外科・整形外科・皮膚科・泌尿器科・眼科・耳鼻咽喉科・リハビリテーション科・放射線科・麻酔科	14	131	116	261	46,728	128	83,435	346

注) 病床数・職員数は令和4年3月31日現在、患者数は令和3年度実績

6. 健康相談など医療社会事業

各赤十字病院においては、生活困窮者等の医療援護、訪問看護、検診活動、健康診断などの各種医療社会事業を実施し、併せて社会福祉団体等の依頼により、医師、看護師等の派遣事業を実施しています。

区分	件数	延日数	延派遣職員			
			医師	看護師	その他	計
京都第一赤十字病院	2	2	2	2	0	4
京都第二赤十字病院	8	27	3	26	0	29
舞鶴赤十字病院	11	12	0	14	3	17
合計	21	41	5	42	3	50

7. 看護師の養成

日本赤十字社の看護師養成は、約130年の歴史を有し、看護に関する幅広い能力を備えた赤十字看護師として、保健医療活動をはじめ災害救護活動、国際救援活動など広く社会に貢献できる人材の育成を行っています。

京都府支部における養成状況は次のとおりです。

(1) 養成施設及び学生数（令和4年3月31日現在）

学校名	1年	2年	3年	合計人数
京都第一赤十字看護専門学校	39 (5)	38 (0)	42 (3)	119 (8)
京都第二赤十字看護専門学校	44 (4)	40 (0)	38 (3)	122 (7)
合計	83 (9)	78 (0)	80 (6)	241 (15)

() は男子学生の内数です。

(2) 進路等の状況（令和3年度）

学校名	所属病院	進学	その他	合計人数
京都第一赤十字看護専門学校	36	4	1	41
京都第二赤十字看護専門学校	32	1	4	37
合計	68	5	5	78

8. 血液事業

献血者の皆様をはじめ、献血推進にご尽力いただいた府民、並びに各種団体のご理解とご協力を得て、令和3年度献血者数は113,213人となり、管内医療機関への輸血用血液製剤の供給が滞りなく行われました。

また、広く府民の皆様に献血へのご協力を呼び掛けるために、献血会場での新型コロナウイルス感染症防止対策を徹底すると共に、献血Web会員サービス（ラブラッド）の会員登録を推進して、献血予約を拡充し、ご協力いただきやすい環境づくりに取り組んでいます。

(1) 令和3年度 献血状況

献血方法別	京都府		全 国	
	人数(人)	構成比(%)	人数(人)	構成比(%)
血漿献血	23,426	20.7	1,093,315	21.6
血小板献血	13,593	12.0	553,512	11.0
400mL献血	75,153	66.4	3,282,124	64.9
200mL献血	1,041	0.9	124,247	2.5
合 計	113,213	100	5,053,198	100

(2) 令和3年度 供給状況 (単位換算)

製剤別	京都府		全 国	
	本数(本)	構成比(%)	本数(本)	構成比(%)
全 血	0	0	6	0
赤血球	148,335	34.6	6,474,053	37.5
血 漿	57,359	13.4	2,089,681	12.1
血小板	223,485	52.0	8,681,277	50.4
合 計	429,179	100	17,245,017	100

※単位換算とは、200mL献血由来を1単位として換算したものの。



献血バスでの献血の様子



医療機関からの要請により、輸血用血液製剤を届ける様子

(3) 若年層献血者確保対策

今後の輸血医療を支えていく若年層（特に小中高生）を対象に献血セミナーを開催し、将来の献血者となるよう啓発に努めています。令和3年度は、新型コロナウイルス感染防止の観点から、新しい生活様式に対応し、各学校の要望も踏まえてオンラインセミナーを実施しました。

献血のご協力が減少しがちな冬季のイベントとして、12月に「全国学生献血クリスマスキャンペーン」を全国的に実施しました。京都府でも京都府学生献血推進協議会のメンバーが、若者を中心に広く府民への献血の協力を呼びかけました。



京都府学生献血推進協議会によるキャンペーン



献血セミナーの様子（京都北部の高校にて）

9. 国際活動

日本赤十字社は、国際赤十字の一員として各国の赤十字社・赤新月社やジュネーブにある赤十字の国際機関とともに国際救援活動を行っています。

各国の赤十字社は互いに協力しながら活動を続けており、京都府支部においても救援金の受付や救援事業等を行いました。

(1) 海外救援金

①海外救援金

(令和4年3月末現在)

区 分	京都府支部		
		令和3年度受付分	受付開始からの累計額
中東人道危機	42 件	485,237 円	1,552,347 円
バングラデシュ南部避難民	99 件	1,204,000 円	2,104,000 円
2021年ハイチ地震	1 件	10,000 円	10,000 円
アフガニスタン人道危機	1 件	10,000 円	10,000 円
トンガ大洋州噴火津波	14 件	124,334 円	124,334 円
ウクライナ人道危機	26 件	2,312,496 円	2,312,496 円
海外救援金（無指定）	33 件	340,000 円	2,968,600 円
合 計	216 件	4,486,067 円	

②「第39回NHK海外たすけあい」寄付金

(期間 令和3年12月1日～25日)

取扱窓口	京都府	全国
支 部	991,983 円	47,405,986 円
N H K	2,188,924 円	23,697,203 円
銀 行 等	50,000 円	33,751,555 円
本社(郵便局含む)		616,027,450 円
合 計	3,230,907 円	720,882,194 円

③青少年赤十字海外支援事業「1円玉募金」活動

日本赤十字社の青少年赤十字海外支援事業として実施し、ネパール赤十字社における水や衛生設備の整備事業及びバヌアツ赤十字社における子どもたちの防災教育事業資金に充当しました。

日赤京都府支部有功会の国際援助協力事業 30,000円

(2) 支部国際活動参加事業

日本赤十字社では、アジア・大洋州地域における災害対策事業の一環として、カンボジア赤十字社・ミャンマー赤十字社・東ティモール赤十字社に対して救急法等の講習普及支援を平成16年度から実施し支援を終了しています。令和元年10月からは、ラオス赤十字社救急法普及支援事業に替わり令和3年度については、ラオス赤十字社への資金協力を行いました。



10. 会員（支援者）増強と社資募集

日本赤十字社は、赤十字の基本理念である人道の精神に基づき、国内はもとより全世界の平和と福祉の増進のため、各種の事業活動を続けておりますが、これらの活動のための事業資金は、赤十字運動の支援者の皆様から寄せられる活動資金が財源となっています。

毎年5月の「赤十字運動月間」を中心に、府民の皆様のご支援に加え、地区・分区をはじめ、赤十字奉仕団、協賛委員、有功会等関係者の皆様から積極的なご協力をいただいた結果、令和3年度は429,635,502円もの活動資金へのご寄付をいただきました。なお、口座振替やクレジットカード決済等による活動資金募集につきましては、2,236件 15,596,682円のご寄付があり、ご協力いただいた方が居住されている地区の実績額に加算しております。また、ダイレクトメールによる活動資金募集においては、1,460件 27,199,638円のご寄付がありました。

今後とも、時代に見合った参加しやすい環境を整備し、一層皆様のご理解を得て、支援者の増強と活動資金の増収に向け、取組を推進してまいります。

（1）活動資金収納状況

（各年3月末現在）

区分		令和3年度（円）	令和2年度（円）	対前年度比較（%）
地区扱い	京都市	112,983,697	111,658,396	101.19%
	府内14市	89,179,234	67,206,184	132.69%
	府内町村	12,833,251	12,360,835	103.82%
	小計	214,996,182	191,225,415	112.43%
支部扱い		214,639,320	144,256,630	148.79%
合計		429,635,502	335,482,045	128.07%

（2）会員数（※）

（各年3月末現在）

区分		令和3年度			令和2年度		
		個人	法人	合計	個人	法人	合計
地区扱い	京都市	531	225	756	753	249	1,002
	府内14市	190	24	214	279	19	298
	府内町村	16	2	18	36	4	40
	小計	737	251	988	1,068	272	1,340
支部扱い		2,194	693	2,887	1,632	697	2,329
合計		2,931	944	3,875	2,700	969	3,669

※年額2,000円以上を寄付の上、会員登録いただいた方

（3）社資功労表彰件数

（各年3月末現在）

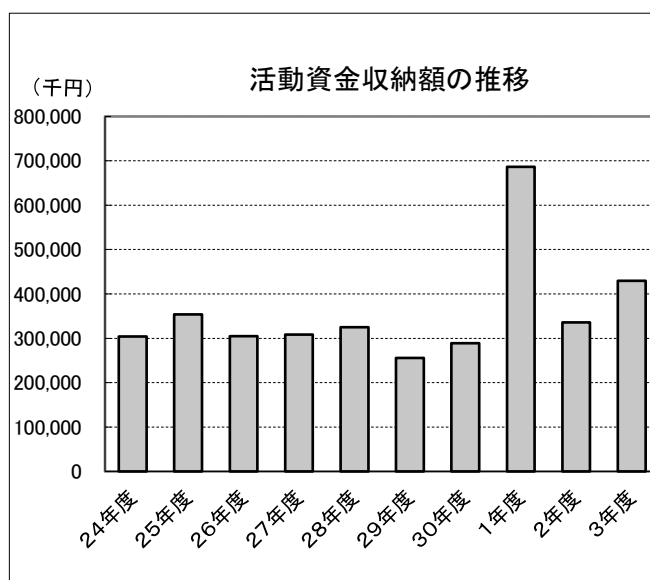
表彰名	件数
日本赤十字社長感謝状	10
金色有功章	16
銀色有功章	19
日本赤十字社京都府支部長感謝状	19

地 区 別 実 績 額

京都市内 地区	金額
北 区	9,404,517
上京区	7,882,000
左京区	12,106,003
中京区	10,413,166
東山区	9,477,850
山科区	10,533,528
下京区	7,069,678
南 区	6,999,928
右京区	13,377,485
西京区	9,190,415
伏見区	16,529,127
合計①	112,983,697

広域振興局 地区	金額
山城(乙 訓)	612,200
山城(山城北)	2,936,931
山城(山城南)	4,238,112
南 丹	2,140,244
丹 後	2,905,764
合計③	12,833,251
地区計(①+②+③)	214,996,182
支部扱	214,639,320
合計	429,635,502

京都府内 地区	金額
宇治市	29,779,125
亀岡市	7,654,609
綾部市	2,842,941
福知山市	7,465,374
宮津市	1,855,351
舞鶴市	6,380,235
城陽市	5,205,234
向日市	2,361,797
長岡京市	4,658,048
八幡市	2,748,959
京田辺市	3,736,762
京丹後市	6,332,942
南丹市	3,850,300
木津川市	4,307,557
合計②	89,179,234



1 1. 赤十字思想の普及・広報活動

(1) 赤十字月間キャンペーンの実施

5月1日は、日本赤十字社の前身である「博愛社」が創設された日であり、5月8日の「世界赤十字デー」は、赤十字社の創設者であるアンリー・デュナンの生誕の日です。こうした歴史的な日のある5月を毎年『赤十字運動月間』として、赤十字活動へのご理解とご協力を呼びかけています。令和3年度はコロナ禍により開催が中止となった行事もありましたが、京都府支部においても、赤十字の活動について一人でも多くの皆様の理解と協力をいただくための取組を行いました。

(2) イベント・キャンペーン開催・参加状況

名称	実施日	場所	備考
ひろげよう赤十字の輪(和)			中止
まいづる田辺城まつり	5/22.23	舞鶴市田辺城舞鶴公園	中止
ネットでどこでも！府民交流フェスタ	10/7～ 3/20	特設サイト上で実施	WEB形式

※上記以外にも地区独自で地域の催し等に啓発ブース等の参画が行われています。

新型コロナウイルス感染症の影響で、イベント（ふれあいまつり等）が中止されています。

(3) 広報活動の展開

広報内容	期間	場所	備考
赤十字バナーの掲揚	4/26～6/1	七条通（支部前～川端通）	
各戸チラシの配布	4～5月	府内全域	地区・分区を通じて配布
市民しんぶん等による広報	4～5月	各地域での啓発	地区に依頼
ポスターの掲示	5月	J R 西日本、京都市営地下鉄、京都丹後鉄道、阪急電鉄の各駅	
立て看板の設置	5/1～31	支部	
広報紙「赤十字きょうと」の発行	4月、7月、12月	会員等に送付	
テレビCM	通年	K B S 京都、京丹波町ケーブルテレビ	
ラジオCM	通年	K B S 京都、エフエム京都、エフエム宇治、FM あやべ、FM まいづる	
パネル展示	5/6～19	右京区役所	
	5/7～13	左京区役所	

(4) マスコットキャラクター「ハートラちゃん」 出動状況

名称	期日	場所	備考
ふしみ人権の集い2021第一回学習会	7/3	伏見区役所	
有功会小児病棟入院児激励	12/24	京都第二赤十字病院	

(5) 学校、病院等における講義・研修

名称	実施日	内容	備考
京都第一赤十字病院 新入看護職員研修会 赤十字概論Ⅱ Ⅲ	4/8	Bangladesh南部避難民保健医療支援事業 活動報告 赤十字の基本原則と国際人道法	WEB形式
京都桂看護専門学校 看護の統合と実践Ⅲ(国際看護)	4/13	国際看護の展開(赤十字の活動を中心に) 赤十字のあゆみと活動 Bangladesh南部避難民保健医療支援事業 活動報告	対面講義
京都第一赤十字看護専門学校 看護学概論	6/24	国際協力のしくみ(赤十字について) 国際看護活動の実際(ケニア地域保健強化事業・インドネシア保健医療支援事業活動報告)	WEB形式
京都第一赤十字看護専門学校 災害看護論(国際活動)	10/13	国際赤十字・赤新月運動について 赤十字の国際活動(ケニア地域保健強化事業・ Bangladesh南部避難民保健医療支援事業活動報告)	WEB形式
日本赤十字秋田看護大学 災害看護学Ⅰ	7/20	日本赤十字社の国内災害救護活動の実際(東日本大震災での活動)	WEB形式
日本赤十字秋田看護大学 国際看護学	7/26	赤十字の国際活動(ケニア地域保健強化事業・ Bangladesh南部避難民保健医療支援事業活動報告)	WEB形式
京都橘大学看護学部 国際看護学Ⅰ	11/25	赤十字のあゆみと国際人道法 国際救援の基本理念 赤十字国際活動(インドネシア保健医療支援事業・ケニア地域保健強化事業・ Bangladesh南部避難民保健医療支援事業活動報告)	対面講義
京都第二赤十字看護専門学校 災害医療論(国際活動)	3/10	日本赤十字社京都府支部の災害救護活動 日本赤十字社の国際活動(歴史、ERUについて、ウクライナ人道危機について) Bangladesh南部避難民保健医療支援事業活動報告	対面講義

資料

令和3年度の主な行事

評議員会

実施日	実施方法	議案
6月	文書審議	支部・施設の令和2年度決算等
2月	文書審議	支部・施設の令和4年度予算等

業務・会計監査

実施日	施設名
6月7日(月)	京都第一赤十字病院、京都第二赤十字病院、舞鶴赤十字病院、京都府赤十字血液センター、京都府支部

※新型コロナウイルスまん延により中止となったため、文書監査

その他行事

実施日	内容	実施場所・実施形式等
4月1日(木)～ 3月31日(木)	救護班要員基礎研修	WEB形式
5月1日(土)～ 5月31日(火)	赤十字運動月間	京都府内一円
4月20日(火)	第4ブロック救護員指導者協議会	兵庫県支部・WEBと対面形式
10月20日(水)	救護員としての赤十字看護師研修 (こころのケア研修)	舞鶴赤十字病院
10月15日(金)	有功会総会	文書審議
11月17日(水)～ 11月19日(金)	救護員としての赤十字看護師研修 (救急法)	舞鶴赤十字病院
12月1日(水)～ 12月25日(土)	「NHK海外たすけあい」運動	京都府内一円
12月11日(土)	「NHK海外たすけあい」街頭募金 キャンペーン	京都市下京区
10月7日(木)～ 3月20日(日)	ネットでどこでも！府民交流フェスタ	WEB形式
11月3日(水・祝)	府民交流フェスタ	京都府立植物園
12月16日(木) 2月24日(木)	第4ブロック救護員指導者協議会	奈良県支部・WEBと対面形式
1月6日(水)～ 2月4日(金) 2月5日(土)	こころのケア研修会	京都第二赤十字病院 WEB形式・対面研修
2月11日(金)～ 2月13日(日)	こころのケア指導者養成研修	WEB形式
3月1日(月)～ 3月11日(木)	こころのケア研修会	京都第一赤十字病院 WEB形式・対面研修
3月13日(日)	日赤災害医療コーディネートフォロー アップ研修会	WEB形式
7月9日(金)・ 10月19日(火)・ 3月1日(火)	支部救護員指導者協議会(3回)	WEB形式・対面形式

表 彰

表章区分		表章基準	個人 (人)	法人 (社・団体)	合計
活動資金	紺 綬 褒 章	500 万円以上 (個人) 1,000 万円以上 (法人)	1	0	1
	厚生労働大臣感謝状	100 万円以上 500 万円未満 (個人)	5	0	5
		300 万円以上 1,000 万円未満 (法人)			
	社資功労感謝状	金色有功章受章後 50 万円以上	4	6	10
	金 色 有 功 章	50 万円以上	13	3	16
	銀 色 有 功 章	20 万円以上	11	8	19
	支 部 長 感 謝 状	10 万円以上	16	3	19
	小計		50	20	70
役職	金 色 有 功 章	在職年数 6 年以上 他	2	0	2
	銀 色 有 功 章	在職年数 3 年以上 他	4	0	4
	小計		6	0	6
奉仕団員等奉仕者	業務功労感謝状	金色有功章受章後 活動年数 10 年以上	6	0	6
	金 色 有 功 章	活動年数 20 年以上	10	0	10
	銀 色 有 功 章	活動年数 15 年以上	19	0	19
	支 部 長 感 謝 状 2	活動年数 10 年以上	39	0	39
	支 部 長 感 謝 状 1	活動年数 5 年以上	74	0	74
	小計		148	0	148

役 職 員 名 簿

(令和4年6月1日現在)

京都府支部

支 部 長	西 脇 隆 俊
副 支 部 長	小 石 原 範 和
〃	多 々 見 良 三
〃	汐 見 明 男
監 査 委 員	武 田 盛 治
〃	渡 邊 隆 夫
〃	土 井 伸 宏
顧 問	門 川 大 作
事 務 局 長	上 田 敏 勝
総 務 課 長	井 上 博 史
組 織 振 興 課 長	加 藤 茂 樹
事 業 推 進 課 長	前 田 ゆ か り

京都第一赤十字病院

院 長	池 田 栄 人
副 院 長	福 田 互
〃	塩 飽 保 博
〃	沢 田 尚 久
事 務 部 長	綾 城 義 治
看 護 部 長	蘆 田 美 栄

京都第一赤十字看護専門学校

学 校 長 (兼)	池 田 栄 人
副 学 校 長	小 林 尚 美
事 務 部 長 (兼)	綾 城 義 治

京都第二赤十字病院

院 長	小 林 裕
副 院 長	出 島 健 司
〃	魚 嶋 伸 彦
〃	藤 原 浩 芳
事 務 部 長	木 下 毅
看 護 部 長	小 川 智 恵 美

京都第二赤十字看護専門学校

学 校 長 (兼)	小 林 裕
副 学 校 長	小 田 初 美
事 務 部 長 (兼)	木 下 毅

舞鶴赤十字病院

院 長	片 山 義 敬
副 院 長	米 山 聡 嗣
事 務 部 長	西 田 宏 幸
看 護 部 長	奥 野 佐 千 子

京都府赤十字血液センター

所 長	堀 池 重 夫
事 務 部 長	石 上 雅 一
事 業 推 進 部 長	坂 本 靖 之

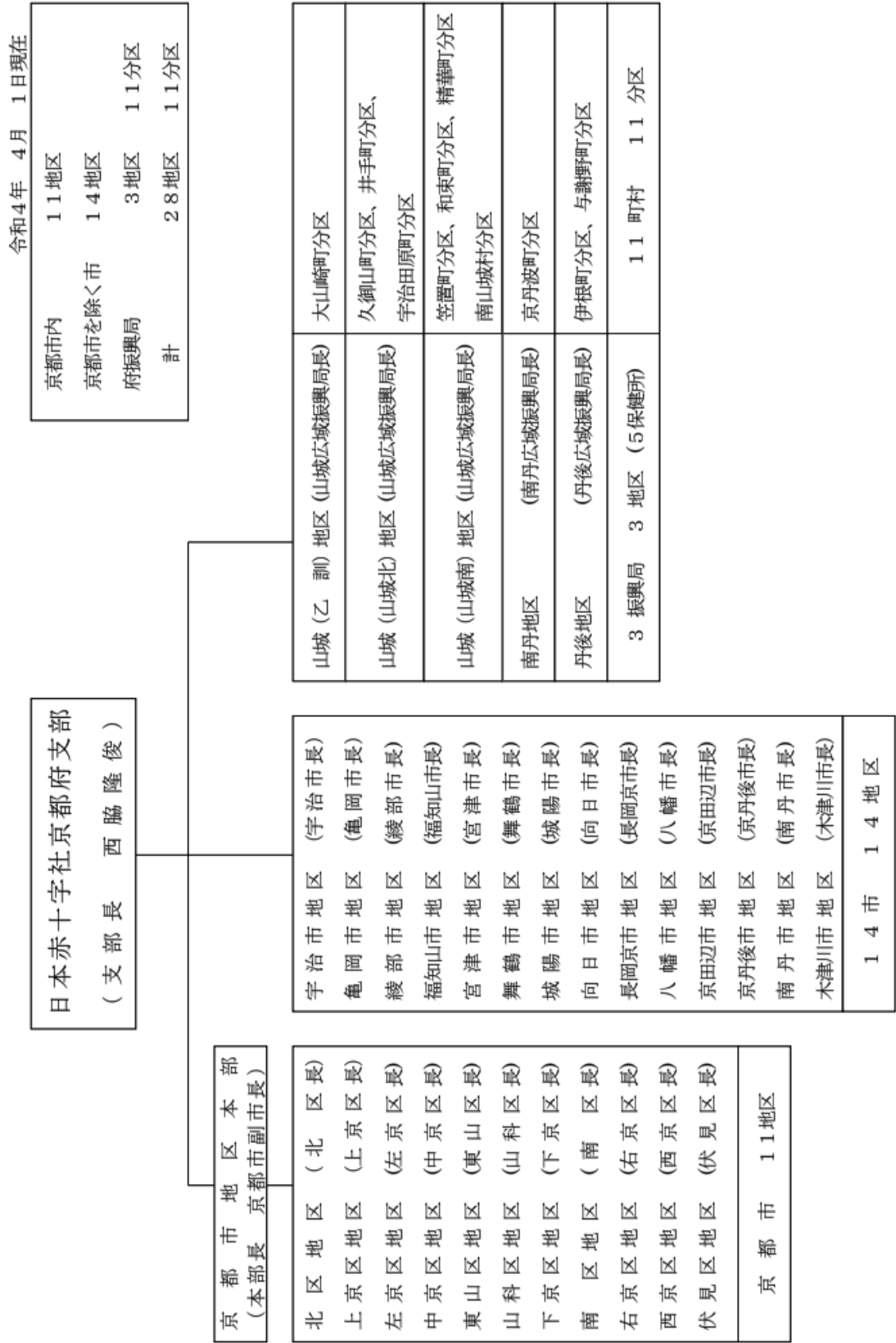
評 議 員 名 簿

(令和4年6月1日現在)

地区名等	氏名	地区名等	氏名
北区	山本勝保	城陽市	奥田敏晴
	辻和男	向日市	安田守
上京区	木下博視	長岡京市	中小路健吾
	赤井英俊	八幡市	堀口文昭
左京区	戸川隆博	京田辺市	上村崇
	風間隨成	京丹後市	中山泰
	清水浩平	南丹市	西村良平
中京区	河邑明佳	木津川市	河井規子
	安孫子正孝	山城	前川光
東山区	高垣慶嗣		信貴康孝
	田島吉廣		西谷信夫
山科区	○◇澤田清一		中淳志
	吉井重光		堀忠雄
下京区	勝間昇		杉浦正省
	小川原繁		平沼和彦
南区	石原國男	南丹	畠中源一
	高落秀男	丹後	吉本秀樹
右京区	市田悦万		山添藤真
	守屋忠敏	支部長選出	○◇栗山正隆
	森田眞利		◇奥田光治
西京区	関谷一男		◇加藤厚
	田畑たつ子		◇安道光二
伏見区	武部太郎		植山正
	社務厚子		馬場健
	松本勝雄		平野正人
宇治市	松村淳子		俣政和
亀岡市	桂川孝裕		足達靖彦
綾部市	山崎善也		松本尚子
福知山市	大橋一夫		
宮津市	城崎雅文		

(順不同・敬称略) 本社役員等：○理事 ◇代議員 定数58名

日本赤十字社京都府支部 地区・分区組織図



施設一覽

- **日本赤十字社京都府支部**
〒605-0941
京都市東山区三十三間堂廻り町644 TEL 075(541)9326
ホームページ <https://www.jrc.or.jp/chapter/kyoto/>
- **京都第一赤十字病院**
〒605-0981
京都市東山区本町15-749 TEL 075(561)1121
ホームページ <http://www.kyoto1-jrc.org/>
- **京都第一赤十字看護専門学校**
〒605-0981
京都市東山区本町15-749 TEL 075(533)1269
ホームページ http://www.kyoto1-jrc.org/vocational_school/
- **京都第二赤十字病院**
〒602-8026
京都市上京区釜座通丸太町上ル春帯町355-5 TEL 075(231)5171
ホームページ <https://www.kyoto2.jrc.or.jp/>
- **京都第二赤十字看護専門学校**
〒602-8015
京都市上京区衣棚通出水下ル常泉院町133-3 TEL 075(441)2007
ホームページ <https://www.kyoto2.jrc.or.jp/nursing/>
- **舞鶴赤十字病院**
〒624-0906
舞鶴市宇倉谷427 TEL 0773(75)4175
ホームページ <https://maizuru.jrc.or.jp/>
- **京都府赤十字血液センター**
〒612-8451
京都市伏見区中島北ノ口町26番地 TEL 075(603)8800
ホームページ <https://www.bs.jrc.or.jp/kk/kyoto/index.html>
 - 四条出張所（献血ルーム四条）**
〒600-8006
京都市下京区四条通柳馬場西入立売中之町99 四条SETビル5F
TEL 0120(640)388
 - 京都駅前出張所（献血ルーム京都駅前）**
〒600-8216
京都市下京区烏丸通七条下ル東塩小路町735 京阪京都ビル6F
TEL 0120(569)356
 - 伏見大手筋出張所（献血ルーム伏見大手筋）**
〒612-8053
京都市伏見区東大手町763 若由ビル1F TEL 0120(731)350
 - 福知山出張所**
〒620-0853
福知山市長田野町1-31-1 TEL 0773(27)6630

令和3年度事業報告書

発 行 令和4年6月
発行元 日本赤十字社京都府支部
住 所 京都府京都市東山区三十三間堂廻り町644
TEL 075-541-9326
FAX 075-541-1361

